

このページは
全員記入必須

【用紙②】収入計算書（2021年度入学者用（大学院予約））

前年

前年用（表）

収入計算書〔前年（2019年1月～12月）用〕

私は、日本学生支援機構の奨学金を申し込むにあたり、前年の収入に関する状況は以下のとおりであることを報告します。また、この収入計算書に基づき奨学金の申込み（「スカラネット」への入力）を行うとともに収入にかかる証明書を裏面に貼付（父母等からの給付額がある場合は裏面に記載）いたします。

○進学予定学校名 東京工業 大学 **学院 研究科
○進学予定課程（該当の数字に○）：
1. 修士・博士前期課程 2. 博士後期課程 3. 博士医・歯・薬（4年制）・獣医学課程 4. 法科大学院

○申込者氏名 例）東工 太郎 ○学籍番号 現在校の学籍番号

「1. 前年の収入額」に記載した金額は、証明書類が必要です。
（奨学金案内22～24ページ参照）

1. 前年（2019年1月～12月）の収入額	
収入項目	収入額（A）
定職 ◎	定職（本人） (年額) 0 万円
	定職（配偶者） [該当者のみ] (年額) 0 万円
アルバイト ◎	アルバイト1 (年額) 36 万円
	アルバイト2 (年額) 0 万円
	アルバイト3 (年額) 0 万円
父母等からの給付額（★） (年額) 101 万円	
奨学金 (年額) 54 万円	
・その他の収入（利子・配当・不動産・年金等の公的手当・預貯金の取崩し等） (年額) 0 万円	
ア 収入額合計（※） (年額) 191 万円	

[各項目1万円未満切捨て]

2. 申込者本人1人にかかる前年（2019年1月～12月）の支出額 [申告のみ：支出についての証明書類不要]	
支出項目	支出額
日常生活費（食費・住居費・光熱費等）（☆） (年額) 102 万円	
授業料 (年額) 53 万円	
通学費（定期代等） (年額) 6 万円	
その他の費用 （書籍費・遊興費・課外活動費等） (年額) 30 万円	
支出額合計（※） (年額) 191 万円	

[記入時の注意事項]
◎複数あるために欄が不足する場合は、合計額を記入（アルバイトは1・2に記入後、3に残りをまとめて記入）。ただし、証明書類は全て提出してください。
★計上する場合、前年用裏面に月別内訳を可能な限り記入してください。また、父母等給付者の自署が必要です。
☆自宅通学者は、世帯一人当たりの経費（世帯年間経費/家族人数）を記入してください。

※「収入額合計」≧「支出額合計」とならない場合は、記入の誤りがないか再度見直してください。

収入額合計は、0万円にならないよう記入してください。

※2021年1月～2月に申し込む場合でも「前年」は2019年となります。

裏面「父母等からの給付額について」の合計額と一致させること。
（給付者である父母等の自署が必要です。）
（裏面の「年」はがっているか注意！）

[裏面に収入欄に記入した収入証明書を貼付]

前年用（裏）

前年

証明書類貼付欄

〔収入に関する証明書のみ貼付〕

・証明書類は、この欄に本紙と上下の向きをそろえて、ホチキスで上部2点を留めてください。

学校指定の様式がある場合は、そちらに貼付してください。
 その場合、本用紙への貼付は不要です。
 書類の提出方法については、学校の指示に従ってください。

< 全員必須 >
 ○奨学金案内23・24ページを参考に
 ・「提出時の前年」1月～12月のアルバイトの収入証明書類
 （源泉徴収票または給与明細の写し、給与支払証明書等）
 ・奨学金の証明書（受給証明書等、奨学金を受ける金額・期間が分かるもの）
 などの収入証明書類を用意の上、上部2点（1点でも可）をホチキス留め。
 ○父母等からの給付がある場合は、下記の欄に記入の上、父母等に**自署**をもらうこと。
 証明書類からさらに推算の必要がある場合は余白に記入してください。

★父母等からの給付額について

表面の申込者本人が日本学生支援機構の奨学金を申し込むにあたり、当該者本人への給付額については、以下のとおりであることを相違ありません。

○給付者（父母等）氏名【自署】 東工 一郎 ○申込者との関係（続柄） 父

奨学生本人の自署でないことに注意

[千円単位：合計欄のみ1万円未満切捨て]

(2019年)

1月	80	千円	8月	80	千円
2月	80		9月	80	
3月	80		10月	150	
4月	150		11月	80	
5月	80		12月	80	
6月	80		合計	101	万円
7月	80				

[月別に記入できない場合は、年額のみを合計欄に記入してください。]

記入金額の単位が小計
と合計で異なるので
誤らないよう注意

本年見込の収入について、前年と変動しない場合、この面の記入は必要ありません。

本年見込用
(裏)

証明書類貼付欄

〔前年の収入から変動がある証明書のみ貼付〕

- ・ 証明書類は、この欄に本紙と上下の向きをそろえて、ホチキスで上部 2 点を留めてください。
- ・ 収入年額の推算が必要な場合は、下部スペースに計算式を記入し、推算した年額を表面記入欄に記入してください。

学校指定の様式がある場合は、そちらに貼付してください。

< 本年收入見込みが前年收入から変動がある場合のみ >

奨学金案内23～25ページを参考に、証明書類を上部2点(1点でも可)をホチキス留め。父母等からの給付がある場合は、下欄に記入の上父母等から自署をもらうこと。

○収入年額を推算する場合は、給与明細のコピーをホチキス留めするとともに、本ページ中ほどの余白に次の計算式により記入すること。

既獲得収入 ÷ 収入のあった月数 × 12 = 収入年額

例) 1 3月に1か月あたり2万円アルバイト代の振込があり、12月まで同額のアルバイト代の振込が見込まれる場合

6万円 ÷ 3ヶ月 × 12 = 24万円 あくまで収入のあった月ベースで計算

★父母等からの給付額について

表面の申込者本人が日本学生支援機構の奨学金を申し込むにあたり、当該者本人への給付額については、以下のとおりであることに相違ありません。

○給付者（父母等）氏名【自署】 東工 一郎 ○申込者との関係（続柄） 父

奨学生本人の自署でないことに注意

[千円単位：合計欄のみ 1 万円未満切捨て]

(2020年)

1月	80	千円	8月	80	千円
2月	80		9月	80	
3月	80		10月	150	
4月	150		11月	80	
5月	80		12月	80	
6月	80		合計	110	万円
7月	80				

[月別に記入できない場合は、年額のみを合計欄に記入してください。]

記入金額の単位が小計と合計で異なるので誤らないよう注意

**本年見込用
(表)**

本用紙は、「A3 サイズ 1 枚」により構成されています。前年（左面）の収入と本年（右面）の収入が変動しない場合、「本年」の記入は不要です。

収入計算書[本年見込 (2020年1月～12月) 用]

私は、日本学生支援機構の奨学金を申し込むにあたり、本年の収入に関する状況は以下のとおりであることを報告します。また、この収入計算書に基づき奨学金の申込み（「スカラネット」への入力）を行うとともに収入にかかる証明書（但し前年の収入から変動のある証明書のみ）を裏面に貼付（父母等からの給付額がある場合は裏面に記載）いたします。

【収入の状況】（A・B の該当する方に、「○」を付けてください。）

A	本年見込の収入については、前年の収入金額に対して、 <u>変動はありません</u> 。	➡	・このページは記入不要。
B	本年見込の収入については、前年の収入金額に対して、 <u>変動します</u> ので、以下のとおり報告します。	➡	・1.2. の各項目を全て記入（前年と変動のない同じ項目も同じ金額を記入）。

2019年から変動がある場合のみBを選択し、収入額・支出額を記入。Aに の場合は収入・支出に記入不要

[各項目 1 万円未満切捨て]

1. 本年(2020年1月～12月)の収入見込額			2. 申込者本人 1 人にかかる本年(2020年1月～12月)の支出見込額 [申告のみ：証明書類不要]	
	収入項目	収入額 (B)	支出項目	支出額
定職 (○)	定職 (本人)	(年額) 0 万円	日常生活費 (食費・住居費・光熱費等) (☆)	(年額) 102 万円
	定職 (配偶者) [該当者のみ]	(年額) 0 万円	授業料	(年額) 63 万円
アルバイト (○)	アルバイト 1	(年額) 36 万円	通学費 (定期代等)	(年額) 6 万円
	アルバイト 2	(年額) 0 万円	その他の費用 (書籍費・遊興費・課外活動費 等)	(年額) 30 万円
	アルバイト 3	(年額) 0 万円	支出見込額合計 (※)	(年額) 191 万円
	父母等からの給付額 (★)	(年額) 110 万円	[記入時の注意事項] ◎複数あるために欄が不足する場合は、合計額を記入（アルバイトは 1・2 に記入後、3 に残りをまとめて記入）。ただし、証明書類は全て提出してください。 ★計上する場合、本年見込用裏面に月別内訳を可能な限り記入してください。また、父母等給付者の自署が必要です。 ☆自宅通学者は、世帯一人当たりの経費（世帯年間経費/家族人数）を記入してください。	
	奨学金 (申込中の奨学金は除く)	(年額) 13 万円		
	・その他の収入 (利子・配当・不動産・年金等の公的手当・預貯金の取崩し等)	(年額) 0 万円		
イ	収入見込額合計 (※)	(年額) 159 万円		

※「収入見込額合計」≧「支出見込額合計」とならない場合は、その事由を記載してください。収入額合計は、0 万円にならないよう記入してください。

事由

例) 上記収入見込みの他、奨学金(5×9か月=45万円)を見込んでいるため支出に釣り合う

※2021年1月～2月に申し込む場合でも「本年」は2020年となります。

「本年」収入見込み額には、現在申込中の奨学金（本奨学金含む）は計上しないこと。申込時点で終了した奨学金は計上しないこと。申込月以前に退職した定職・アルバイトは計上しないこと。

【裏面に前年の収入から変動のある証明書のみ貼付】